

記事を読んで問いに答えましょう。

展示販売しているコケのテラリウム



牧之原市でコケの生産に取り組み三浦隆平さん(39)の個展が23日まで、同市波津のギャラリー相良で開催されている。市農林水産課によると、個人経営のコケ農家は県内では三浦さんただ一人とみられるという。造園業者や個人らを対象にコケを販売しながら、展示会やテラリウム作りの教室を開くなどして魅力を発信している。

コケ小世界のぞいて体感

10種紹介、テラリウム作り



枯山水の庭を前にコケの魅力を語る三浦さん
 〓 牧之原市波津のギャラリー相良

牧之原農家の三浦さん個展

市内で栽培したスナゴケ、ハイゴケ、シッポゴケなど、葉の形や色が異なる約10種類のコケを紹介している。岩とコケの組み合わせが美しい枯山水や、スギゴケを市松模様に施した庭もギャラリー内の一角に設けた。秋田県出身の三浦さんは、競輪選手や花火師など異色の経歴の持ち主。暖かい地域での農業を志す(榛原支局・相松孝暢)

市内で栽培したスナゴケ、ハイゴケ、シッポゴケなど、葉の形や色が異なる約10種類のコケを紹介している。岩とコケの組み合わせが美しい枯山水や、スギゴケを市松模様に施した庭もギャラリー内の一角に設けた。秋田県出身の三浦さんは、競輪選手や花火師など異色の経歴の持ち主。暖かい地域での農業を志す(榛原支局・相松孝暢)

して2017年に牧之原市へ移住。翌年から、幼い頃から好きだったというコケの栽培を始めた。「コケの繊細さや、小さな世界観が魅力」と目を細める。個展では、コケのテラリウムを作る体験会も実施している。プラスチックケースの中に入れた土にコケを植え、オリジナルの作品に仕上げ。三浦さんは「まだまだ知られていないコケの魅力を対面で伝えていきたい」と話している。

2020年8月19日朝刊 中部版

① 記事中にあるコケの種類をすべて書き出しましょう。

[]

② 記事の三浦さんのほかに、静岡県内でコケ農家はいますか。

[]

③ 三浦さんは「コケの魅力」をどう考えていますか。

[]

④ 「コケのテラリウム」とはどのようなものですか。記事から読み取って書きましょう。

[]

年 組 名前

記事を読んで問いに答えましょう。

解答例

展示販売しているコケのテラリウム



牧之原市でコケの生産に取り組み三浦隆平さん(39)の個展が23日まで、同市波津のギャラリー相良で開催されている。市農林水産課によると、個人経営のコケ農家は県内では三浦さんただ一人とみられるという。造園業者や個人らを対象にコケを販売しながら、展示会やテラリウム作りの教室を開くなどして魅力を発信している。

コケ小世界のぞいて体感

10種紹介、テラリウム作り



枯山水の庭を前にコケの魅力を語る三浦さん
 〓 牧之原市波津のギャラリー相良

牧之原農家の三浦さん個展

市内で栽培したスナゴケ、ハイゴケ、シツポゴケなど、葉の形や色が異なる約10種類のコケを紹介している。岩とコケの組み合わせが美しい枯山水や、スギゴケを市松模様に施した庭もギャラリー内の一角に設けた。秋田県出身の三浦さんは、競輪選手や花火師など異色の経歴の持ち主。暖かい地域での農業を志す(榛原支局・相松孝暢)と話している。

市内で栽培したスナゴケ、ハイゴケ、シツポゴケなど、葉の形や色が異なる約10種類のコケを紹介している。岩とコケの組み合わせが美しい枯山水や、スギゴケを市松模様に施した庭もギャラリー内の一角に設けた。秋田県出身の三浦さんは、競輪選手や花火師など異色の経歴の持ち主。暖かい地域での農業を志す(榛原支局・相松孝暢)と話している。

して2017年に牧之原市へ移住。翌年から、幼い頃から好きだったというコケの栽培を始めた。「コケの繊細さや、小さな世界観が魅力」と目を細める。個展では、コケのテラリウムを作る体験会も実施している。プラスチックケースの中に入れた土にコケを植え、オリジナルの作品に仕上げ。三浦さんは「まだまだ知られていないコケの魅力を対面で伝えていきたい」と話している。

① 記事中にあるコケの種類をすべて書き出しましょう。

2020年8月19日朝刊 中部版

[スナゴケ、ハイゴケ、シツポゴケ、スギゴケ]

② 記事の三浦さんのほかに、静岡県内でコケ農家はいますか。

[いない(とみられる)。]

③ 三浦さんは「コケの魅力」をどう考えていますか。

[コケの繊細さや小さな世界観が魅力(と考えている)。]

④ 「コケのテラリウム」とはどのようなものですか。記事から読み取って書きましょう。

[(例) プラスチックケースの中に入れた土にコケを植えた(オリジナルの)作品。]

年 組 名前